

寄附禁止のルールを守りましょう

～『贈らない』『求めない』『受け取らない』～

- 政治家(現に公職にある者、候補者、立候補予定者)が選挙区内の人などに寄附を行うことは一切禁止されています。
- 第三者が政治家を名義人として、選挙区内の人などに寄附を行うことも禁止されています。
- 政治家の後援団体(後援会など)が行う寄附も政治家の寄附同様に禁止されています。



葬式の花輪、供花



落成式、開店祝の花輪



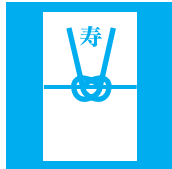
町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ



地域の行事(祭りやスポーツ大会など)への飲食物の差し入れ



代理が出席する場合の葬式の香典



代理が出席する場合の結婚祝

※「公職選挙法」より

東毛広域幹線道路沿線の開発構想を問う

川端 宏和 議員



線道路から関越自動車道へ直接乗り入れること

町長 東毛広域幹線道路から関越自動車道へ直接乗り入れること

たと思うが、具
体策はあるのか。

スマートインターチェンジ、東毛広域幹線道路は、利根川に架かる新橋を含め、平成27年度には完成予定である。スマートインターチェンジ周辺の開発など、未来を見据えた構想を考える時期が到来したと思うが、具

の役割を持つ。よって、道路管理者である群馬県と、

町長 「道の駅」は、道路利用者の安全走行のための休息施設としての役割を持つ。よって、道路管理者である群馬県と、

防災施設などを備えた道の駅構想は。

ができるスマートインターチェンジ構想ができた。また、道路形態が「高盛り土」から平面方式に変わった。これにより、道路用地に余地が生じる。今後は、用地の有効利用を考えることも必要だと思ふ。

54号の交通量もかなり減少するのではないかと、ここで、宿場町として栄えた玉村町を活かし、屋号復活や

町長 東毛広域幹線道路の完成により、国道54号の交通量もかなり減少するのではないかと、ここで、宿場町として栄えた玉村町を活かし、屋号復活や

玉村八幡宮前の大門通りを

位置について今後協議し、適な場所を再検討していく。現在は、たまむら物産館設置推進協議会において、「道の駅」と「物産館」が併設できるかどうか、また施設の内容・経営面などについても検討されている。

門通りは、今後可能性を秘めた場所だと思ふ。

町長 浅草の浅草寺前の仲見世は無理としても、大変夢のある発想と思う。八幡宮前の大門通りは、今後可能性を秘めた場所だと思ふ。

町長 浅草の浅草寺前の仲見世は無理としても、大変夢のある発想と思う。八幡宮前の大門通りは、今後可能性を秘めた場所だと思ふ。

玉村八幡宮前の大門通りを浅草・浅草寺仲見世通りのように、町並みは旧新治村の「たくみの里」のように整備する将来構想はどうか。



玉村八幡宮

県町村議会議員研修会に参加しました

平成20年10月29日、県町村議会議員研修会が、吉岡町文化センターで行われました。毎年開催されているこの研修会には、県内の全町村議会議員が参加します。玉村町からも全員が出席しました。

講師は、政治に造詣が深い、松本克夫先生・森田実先生。

最近の政治情勢をふまえた興味深いお話を聞くことができ、大きなくりでの講演でしたが、貴重な経験となりました。これからの議員活動に活かしたいと思ひます。